Nikon



スピードライト撮影作例集

SB-5000

SB-5000の機能を活用した 撮影テクニックをご紹介いたします。

株式会社 ニコン 株式会社 ニコン イメージング ジャパン

©2016 Nikon Corporation TT6D01(10) 8MSA9810-01



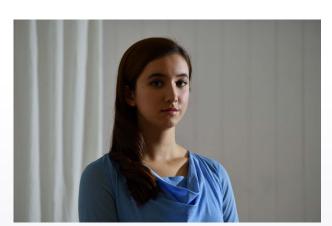
Index —



】 バウンス撮影 …………… 3~4ページ



2 日中シンクロ5~6ページ



3 アドバンストワイヤレスライティング リモートフラッシュ7~8ページ









 アドバンストワイヤレス 電波制御ワイヤレス 増灯撮影

…………… 11 ~12 ページ

アドバンストワイヤレスライティングについて …………13~14ページ

1

バウンス撮影

フラッシュヘッドを上方向に向け、天井に反射させた光を利用する テクニックです。光を拡散させることでやわらかいライティングとなり、 髪の毛のディテールをしっかり表現しつつ、見た目に近い自然な写真 が撮れます。



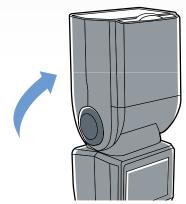
露出モード: プログラムオート シャッタースピード: 1/30秒

絞り値:f/5 ISO感度:200 発光モード:i-TTL-BL

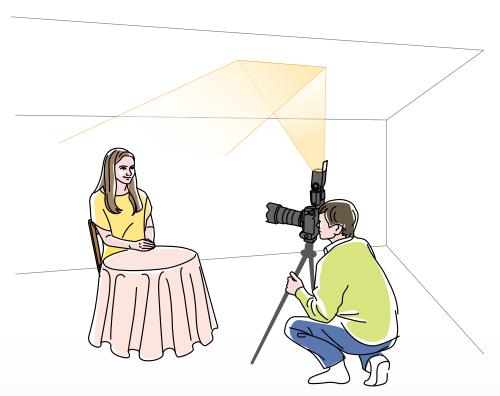
バウンス撮影



スピードライトなし



フラッシュヘッドを上方向に向ける



天井に光を反射させて撮影。ワイドパネルを使用して光をより拡散させるとともに、 キャッチライト反射板で瞳の中にハイライトを入れ、生き生きした表情に。

2 日中シンクロ

逆光状態の被写体を適正な明るさで撮影するテクニックです。 オートFPハイスピードシンクロと併用することで、絞りを開いて 背景をぼかした撮影が楽しめます。



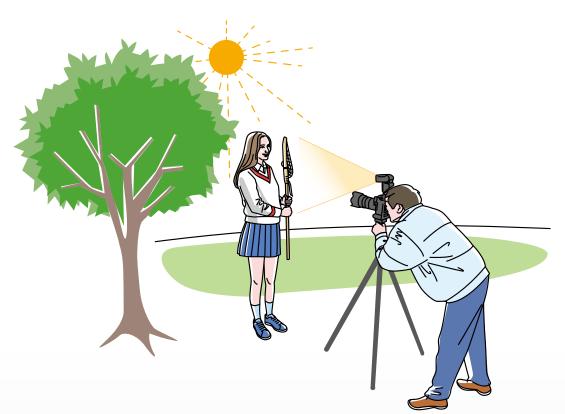
露出モード:マニュアル

シャッタースピード: 1/2500秒 (オートFPハイスピードシンクロ)

絞り値:f/2.8 ISO感度:100 発光モード:M x 1/4



スピードライトなし



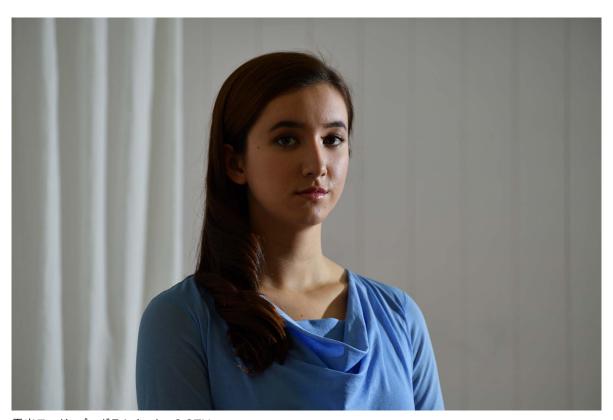
カメラの露出モードをMまたはAにセットし、お好みの絞り値で撮影。

▶Index

6

3 リモートフラッシュ

スピードライトをカメラから離して、好きな角度・位置から光を当てる テクニックです。たとえば、被写体の横から光を当てると、光と影の コントラストを強調した写真が撮れます。



露出モード: プログラムオート -0.3EV

シャッタースピード: 1/30秒

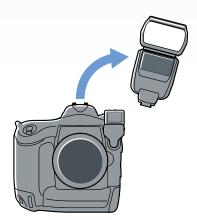
絞り値:f/5 ISO感度:200

リモートフラッシュ Aグループ:TTL

露出補正: 背景のみ補正



スピードライトをカメラに装着して使用 (被写体の正面から光を照射)



カメラから離して使用(リモートモードに設定)



電波制御で撮影。

アドバンストワイヤレスライティングについては、13ページをご覧ください。

▶Index

8

アドバンストワイヤレスライティング

リイヤレス増灯撮影

複数のスピードライトを使用することで、被写体の前面を明るくする、 輪郭を際立たせる、影を和らげるなどの効果を組み合わせること ができます。



露出モード: プログラムオート -1.0EV

シャッタースピード: 1/4秒

絞り値:f/4.8 ISO感度:200

マスターフラッシュ: TTL -0.7EV (バウンスアダプターを装着)

リモートフラッシュ Aグループ: TTL +2.7EV

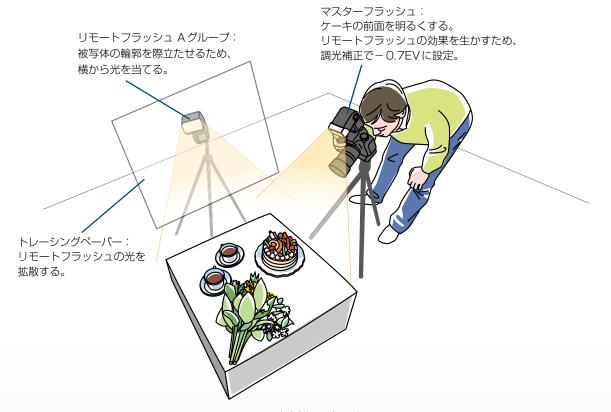
露出補正: 背景のみ補正



スピードライトを 1 灯使用 (カメラに装着して、被写体の正面から光を照射)



スピードライトなし



電波制御で撮影。

アドバンストワイヤレスライティングについては、13ページをご覧ください。

5

アドバンストワイヤレスライティング

電波制御ワイヤレス増灯撮影

電波制御のワイヤレス増灯なら、壁の向こう側を明るくするなど、障害物があってもリモートフラッシュを光らせることができます。





露出モード: プログラムオート

シャッタースピード: 1/1250秒 (オートFPハイスピードシンクロ)

絞り値:f/4 ISO感度:100

マスターフラッシュ: TTL (ワイドパネルを使用) リモートフラッシュ Aグループ: M x 1/1

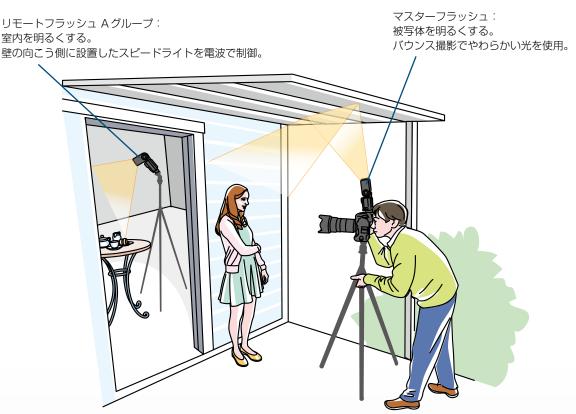
リモートノフッシュ Aグループ:M x 1/1





光制御で撮影

(光制御では、壁の向こう側に設置した リモートフラッシュを光らせることが できないため、室内が暗く写ってしまう)



電波制御で撮影。

アドバンストワイヤレスライティングについては、13ページをご覧ください。

アドバンストワイヤレスライティングについて

下記の組み合わせで、アドバンストワイヤレスライティングがお楽しみいただけます。





- ※ 1 ワイヤレスリモートコントローラー WR-R10 (ファームウェア Ver. 3.00以降) とWR用変換アダプター WR-A10 (いずれも別売り) が必要です。
- ※2 マスターフラッシュを使わずに、カメラ側で各スピードライトの発光設定を行うことも可能です。
- ※3 内蔵フラッシュのコマンダー (CMD) モードを搭載したカメラをご使用の場合、マスターフラッシュを使わずに、カメラ側で各スピードライトの発光設定を行うことも可能です。
- ※4 SB-500をマスターフラッシュとして使用するには、外付けフラッシュのコマンダー(CMD)モードを搭載したカメラが必要です。

アドバンストワイヤレスライティングについて

光制御と電波制御を併用する場合

カメラ※5



D5 D500 光制御と電波制御の併用時には、D、E、Fグループのリモートフラッシュ(電波制御)に関する設定はカメラ側で行います。

光制御マスターフラッシュ



SB-910

SB-700

SB-500^{*6}

カメラに装着した光制御マスターフラッシュで、A、B、C グループのリモートフラッシュを制御します。

リモートフラッシュ

A、B、C グループ (光制御)



SB-5000

SB-910

SB-700

SB-500*7

D、E、Fグループ (電波制御)



SB-5000

- ※5 ワイヤレスリモートコントローラー WR-R10 (ファームウェア Ver. 3.00以降) とWR用変換アダプター WR-A10 (いずれも別売り) が必要です。
- ※6 SB-500をマスターフラッシュとして使用する場合、リモートフラッシュは、A、Bの2グループのみ設定できます。
- ※7 SB-500はA、Bグループとしてのみ設定できます。